



AMERICAN RAG CIE 白と青のシンクロシティ

今季の〈アメリカンラグシー〉は、ホワイトとブルーを
基調とした軽快なスタイリングを提案。
全身白で包まれたクリーンな色&デニムの美しい
インディゴカラーが、雨の東京に花を添える。

Photo: Kiyotaka Hatanaka (takahashi office) Styling: Ayaka Endo (TRON)
Hair: Kazuya Matsumoto (W) Make-up: Ken Nakano
Models: JUN, YUAN, MARYA Text&Edit: Yu-ka Matsumoto

右: 毛足の長いモヘアニットの中でもホワイトは、フェミニンな印象が強いアイテム。でも、バストラインにデザインされたレトロな模様が、どこか男の子っぽく仕上げてくれる。モヘアニット ¥21,000(アイランドタイド×アメリカンラグシー)、スヌード ¥25,000(ローレン マヌーギアン)、中に着たタンクトップ ¥4,500、デニムパンツ ¥15,000(共に アメリカンラグシー | 以上アメリカンラグシー 渋谷店) / シューズ ＊スタイリスト私物

中: 大胆なスリットが目玉のスカートにガウンタイプのアウターを合わせたホワイトスタイル。足元をスニーカーであえてカジュアルに見せることで、程よく抜けた着こなしに。ガウン ¥69,000(ローレン マヌーギアン)、ニット ¥23,000(ミュニック フォー アメリカンラグシー)、スカート ¥75,000(オーガニック バイ ジョン パトリック | 以上アメリカンラグシー 渋谷店) / シューズ ＊スタイリスト私物

左: トレンドのスタジャンも白を選択すると、ラフな中に上品なエッセンスがプラスされる。難しい全身ホワイトは、オフカラーを入れると、自然となじんで見えるのでおすすめ。ブルゾン ¥52,000(ゴールドン ベア×アメリカンラグシー)、ベージュニット ¥34,000(オーガニック バイ ジョン パトリック)、パンツ ¥17,000(リー×アメリカンラグシー | 以上アメリカンラグシー 渋谷店) / シューズ ＊スタイリスト私物



右: アメリカンラグ シーの真骨頂ともいえるデニムを使ったレイヤードスタイル。腰巻きのデニムや袖口から覗くデニムシャツなど、小ワザを利かせたテクニックに注目。フリンジニット ¥18,000(ナバアサナ)、下に重ねたデニムシャツ ¥28,000(マザー)、腰に巻いたヴィンテージ〈ラングラー〉のデニムジャケット ¥27,000、ヴィンテージ〈リーバイス〉のパンツ ¥50,000(以上アメリカンラグ シー 渋谷店) / シューズ ＊スタイリスト私物

中: 今季人気の高いMA-1ブルゾンも色味を合わせてネイビーをチョイス。オールインワンで仕上げた野営ったさを襟元のファーがカバーして、女性らしいエレガンスを表現している。ヴィンテージ〈アルファ インダストリーズ〉のブルゾン ¥12,000、タートルネックトップ ¥12,000(オーガニック バイ ジョンパトリック)、オールインワン ¥52,000(シーファーラー)、ファーストード ¥14,000(アメリカンラグ シー | 以上アメリカンラグ シー 渋谷店) / シューズ ＊スタイリスト私物

左: アメカジの王道であるセットアップのデニムスタイルも、今はかなり新鮮に映る。Pコートを加えて90'sテイストを加速させたマスキュリンのコーディネート。Pコート ¥48,000、下に重ねたデニムシャツ ¥16,000、首に巻いたパンダナ ¥1,400(以上アメリカンラグ シー)、中に着たヴィンテージ〈リーバイス〉のデニムジャケット ¥9,800、パンツ ¥36,000(エヌエスエフ)、ブーツ ソール 4cm ¥31,000(ファビオ ルスコーニ | 以上アメリカンラグ シー 渋谷店)